



我がアコーディオンライフ

注目のクロマチックアコーディオン奏者

かとう かなこ アコーディオンへの想い



日本ではアコーディオンの専門的な“学校”というものが存在しない。個人的に教えてくださる先生や、サークルは数多く存在しても、音楽大学の中にアコーディオン科は...皆無である。このことを言うと言われる方も多い。

そのため 本格的に勉強をしたい!と思った時の選択肢としてあるのが“海外への留学”。私自身そう決断したうちの

一人である。高校を卒業して半年後に、フランスへ渡る。かとうかなこ 18歳。

ほぼ何の知識も持たずに 渡仏したため、片言のフランス語でとにかくアコーディオンを担いで 学校へ行く日々。私がいた学校はパリから500キロ離れた、オーベルニュ地方にある小さな田舎町。そこは人口300人中50人がアコ弾き!朝から晩ままではアコーディオン漬け状態。これは

なかなか強烈で、今後このような生活を送ることは絶対ないだろう。見るもの聴くもの、食べるもの(笑)すべてが珍しく、あつと言う間に身に付いていく。(実際10キロ体重増!)いえいえ、冗談は抜きにしても、毎日通っていて中で フランス語も聴こえてくるようになり、学校では、同世代の本気でアコーディオンのソリストを目指している仲間にも出会い、沢山の刺激を得た。ジャンルは様々、目指す方向に多少の違いはあっても“同じ楽器”を弾くもの同士、通じるものがある。これって、不思議。同じものを好むのには、やはり訳があるのから。似たもの同士ってやつかも!楽器って本当に不思議でおもしろい。私はaccordionという楽器を通して、本当に沢山の出会いを得、経験をしてきた。それは、これからも続くと思う。楽器をやっていると、それを通して、輪がどんどん広がる。広がった輪がまたどこかに繋がり、どんどん大きくなる。それが楽しくて仕方ない。皆さんにも その楽しみを どんどん味わって頂きたい!将来 アコーディオンの学校を 日本に作りたい、それが 私の目標のうちの1つである。

かとうかなこ略歴

1979年生まれ。大阪府豊中市出身。4歳からアコーディオンをはじめ。

17歳で『全日本アコーディオンコンクール』総合優勝。高校卒業後すぐにフランスに渡り、パリ市立音楽院、CNIMA国際アコーディオン学院入学。在学中には「全仏コンクール」でも第

1位を獲得する。

帰国後、沢田研二・藤山直美の音楽劇で共演。2002年ラジオの特別番組で、リチャード・ガリアノやクレモンティーヌとのセッションを行う。リリースしたアルバムは、多くのテレビ番組で取上げられている。また、NTTドコモのラジオCMにも楽曲を提供。

フランス在学中まではクラシック、帰国後はフランスのミュージットを取り入れて演奏してきたが、ここ数年は大きく方向転換し、オリジナルを中心ライブを展開。また2005年より「ソロプロジェクト」をスタート。90分のフルステージを完全に一人で演奏する。

80歳を過ぎてまで演奏し続ける事が目標。

クロマチックアコーディオンプレイヤー

かとう かなこ

NEW ALBUM

「独奏」 8.27.Mon. ON SALE!!



ひとりになって
大音量で
聴いて欲しい

喜怒哀楽...アコーディオンという魔法の箱を通して溢れ出る感情、時にのびやかで美しく、時に深く悲しさが胸を出す。そんなメロディーとエッジのきいたビートとの共存。4歳からアコーディオンを抱き絞ってきた「かとうかなこ」が、「今後しておきたいもの」を形にしたアルバム。 [目次: KAT-002]

www.katokanako.com

4曲入り 定価:1,500円(税別)

Harmony Fields 株式会社ハーモニーフィールズ

〒666-0021 兵庫県川西市堂根 1-7-18-3F

info@harmony-fields.com Tel. 072-774-8858